



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その84

常滑市にある「陶芸研究所」です。日本モダニズム建築のパイオニアと言われる堀口捨己の設計で、1961年の完成です。大きく張り出した庇や屋根に載るトッライトの造形など、古さを感じない、端正な建築です。外壁は淡い藤色のモザイクタイルで覆われており、一部では少し濃い色へのグラデーションになっています。まさに一見の価値がある建築です。

CURRENTLY WORKS



調剤薬局の新築移転 その2… 間接照明

天井高3.6mの空間に、ダクトレールを「M」型に吊り下げ、スポットを上向きにして、「光のM」を描いています。普段、天井にはあまり視線が向かないと思いますが、ここでは、天井面に一切照明器具を取り付けず絵画のキャンバスのように扱っています。壁面まわりも同様に上向きのスポットで間接照明とし、機能的に必要な部分にスポットを当てました。

PRIVATE TOPICS



太田のアート探訪記 その20

静岡県長泉町にある「クレマチスの丘」… 園内には幾つかの美術館があります。今回は「ヴァンジ彫刻庭園美術館」で、ラウムプラン設計2002年開館です。彫刻が点在する前庭を下り建物入口へと導かれます。吹抜を貫くブリッジから下階へ降り、大きな空間に散在するヴァンジ作品を巡ると、広い彫刻庭園へ導かれます。アートと建築の融合です。

EDITORIAL NOTE

7月！夏本番！… 子供の頃の夏を思い出して単語を羅列してみます！… プール・風鈴・蚊帳・西瓜
向日葵・麦わら帽子・ラジオ体操・海水浴・団扇・かき氷・打ち水・絵日記・朝顔・蝉の鳴声・冷麦
カルピス・水練学校・葦簀・夕立・ランニングシャツ・水鉄砲・夏の生活…そして憂鬱な8月31日…

編集担当：太田・藤原、監修：岡島